

令和 8 年度第 1 回 潟上地域リハビリステーション運営推進会議録

1. 日時 令和 8 年 9 月 25 日（金）14 時～15 時
2. 場所 トレイクかたがみ研修室 1
3. 出席 潟上市役所健康長寿課 佐藤様
飯田川居宅介護支援センターわかば園 介護支援専門員 伊藤 様
利用者代表 K 様
利用者家族 S 様
潟上地域リハビリステーション管理者 渡部 見
潟上地域リハビリステーション 生活相談員 大竹 絵美子
(欠席：民生委員 北條様)

4. 活動状況に関する報告

潟上地域 リハビリステーション（大竹）	① 利用状況 冬期間に体調不良で利用終了者が増え、春～夏にかけて利用者が増えている。 ② 避難訓練 9/1 防災の日に合わせ、大地震想定 of 避難訓練を実施、緊急連絡先の確認を行った。 ③ 新入職員、勉強会 4 月に新入職員が配属された（理学療法士）。新人教育も兼ね、事業所内勉強会を行っている。 ④ 学会参加 6 月に藤本が秋田県理学療法学会に参加、パーキンソン病患者に対する介入症例報告を行った。 ⑤ 学生受け入れ 秋田大学作業療法学専攻の実習生を受け入れた（評価実習、総合臨床実習）。 ⑥ 今後のリハビリ パーキンソン病特化のリハビリ（LSVT BIG）資格を新たに一名取得する予定。
潟上地域リハビリステーション	コグニサイズ指導者資格をリハビリ職員 2 名取得、実

(渡部)	践者資格を介護職員 3 名取得した。法人内外での指導を行っている。転倒について学会参加、論文投稿を行う。転倒についてリハビリに活かす。
------	--

5. 意見交換、質疑応答

潟上市健康長寿課 佐藤 様	利用者が楽しんで利用できているようで良かった。 ・研修参加の倍率 →申し込みに対して抽選を行い、参加の可否を決める。講師を海外から招き、実際の患者に協力いただき実習を行うため参加人数に限られる。ライセンスが取得できれば、施設内での伝達研修を行い、全員が同じサービスを提供できるようにする。(渡部) ・避難訓練での課題 →デイルームから外への避難動線は短く、すぐ避難できた。利用時間中の利用者は各々の場所で過ごしているため、実際の避難では利用者の位置の確認に時間を要し、利用者確認のため職員が施設内に戻り二次災害が起こる可能性がある。(渡部)
介護支援専門員 伊藤 様	他のデイサービスは利用者が減ってきているが、潟上地域リハビリステーションは利用希望者が多い。 ・パーキンソン病特化のリハビリはもう始めているのか →昨年度ライセンスを取得した職員が中心となり、実施している。ホームページでも特化リハビリについて紹介し、集客につなげる。(渡部) ・パーキンソン特化リハビリは全員に実施しているのか。 →パーキンソン病と診断を受けた方、パーキンソン病と類する疾患の方、パーキンソン病様の症状がある方に対して個別リハビリの中で対応している。(大竹)
介護支援専門員 長岡 様	ホームページでパーキンソン病特化リハビリを紹介しているとのことだが、利用者が見やすいように紙での資料もあるといい。 →検討します。(渡部)
利用者代表 K 様	利用して身体を動かしていると調子がいい。
利用者家族代表 S 様	他利用者と熱中して将棋を行い、身体を動かす訓練を忘れてしまうこともあるようだ。体調不良のため利用できないと、残念にしている。